

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人サポートクラブあすなろ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

車いす利用者も遠くに行こう

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

障がいをもつ子どもの家族にとって 遠方に出かけることは、楽しい反面負担も大きく 観光地では兄弟、姉妹のことを考えるとなかなか難しいのが現実です。そこで特に母親の負担を少しでも軽減でき、かつ当事者がゆっくり過ごし楽しめることを目的として、介助者を1対1以上でつけるバスハイクを計画する。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

目的地を当初ディズニーランドと計画し保護者会に投げかけ検討する。別の候補地がいくつかでたが、家族の希望は安心できる体制、目的地で十分に楽しめ体調を崩さず帰ってこられる内容を希望としていることが明確になった。そこで、目的地をいくつか挙げ、バス乗車の時間、受け入れ施設の対応、介助者の募集に時間を費やした。その結果、品川アクアスタジアムが開館時間前に館内に入場が出来ること、移動の便利さ、トイレや食事場所設備 そして実路も無料でガイドがつくなど好条件がそろい決定となり計画を実行した。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

事前に数回の保護者会を行い、今までに行ったことのある観光地の情報を集め またパンフレットやホームページを参考とし、スタッフと保護者で十分に検討した。その結果、介助者の体制を十分にし親なしの社会科学見学とする方向性を決めた。その過程では保護者間の交流もあり、スタッフとの関係も密になった。

結果、受け入れ施設(品川アクアスタジアム)からとてもいい対応をいただくことが出来、予定より少し早めに帰ることもでき、体調を崩すこともなかったのは本当によかったと思っています。その後の反省会も含めた保護者会には多くの出席者がいた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

会員19名中10名が参加でき目標の過半数ぎりぎりでしたが、利用したリフトバスの可能な車いす乗車数が埋まりかつ介助者がしっかり車内で水分補給も出来 現地では子ども達のきらきらした表情がたくさんみられたことはとても嬉しいことでした。午後からのイルカショーやアシカショーも見やすい場所を提供してもらい、帰路に着く前に感想や要望もしっかり品川アクアスタジアムの方が聞いて下さり見送りまでしてくれたことは、とても大事にされたという満足と感謝の気持ちでいっぱいでした。後日保護者の方から こどもたちの喜んだ報告や表情があったと聞かされ、今回の計画は大成功と思います。写真も各家庭にメモリーで配ることも出来ました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

